



MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIA • MEDIENMITTEILUNG

2005年3月4日

報道関係各位

ノバルティス(スイス)が発表しましたリリースの日本語訳(抜粋)をご参考までにお届けします。

ノバルティス、2005年コーポレート・フィランソロピー優秀賞を受賞

- 経営陣の積極的なコミットメント、フィランソロピー活動の革新性が評価される
- 2004年、ノバルティスのプログラムにより、世界で425万人以上の患者さんが治療薬を入手。これは5億7,000万米ドル(約616億円)に相当

2005年2月28日、バーゼル発 ノバルティスは、欧州企業として初めて、Committee to Encourage Corporate Philanthropy (コーポレート・フィランソロピー振興委員会：以下CECP)が選出する「コーポレート・フィランソロピー優秀賞」を受賞しました。CECPIは、2000年以来、コーポレート・フィランソロピーの分野で顕著な活動を行った企業を顕彰しています。

ノバルティスは、経済的理由から十分な治療を受けられない患者さんが、治療薬を手にすることができるよう活動を続けており、こうした取り組みが評価されました。2004年には、世界で425万人以上の患者さんが、ノバルティスのプログラムにより治療薬を手にし、これは5億7,000万米ドル(約616億円)に相当する規模でした。こうした活動には、医薬品の寄付のほか、開発途上国におけるハンセン病、結核、マラリアなどの疾患に対する研究プログラムなどが含まれます。

「経済的な理由に関わらず、世界中の患者さんが必要な治療薬を手にすることができるよう、高品質な医薬品を開発・製造・販売することが、私たちの使命です。この使命を達成するため、世界中のノバルティス社員が行ってきた活動が認められたことをうれしく思います」。ノバルティス会長兼CEOのダニエル・バセラは、今回の受賞についてこのように述べました。

2000年以降、ノバルティスは、世界保健機関(WHO)とのパートナーシップにより、世界のすべてのハンセン病の患者さんに治療薬を無償で提供してきました。ノバルティスが提供した多剤療法により、2000年以降、300万人以上がハンセン病の治癒に至り、この結果、ハンセン病の罹患率は劇的に減少しました。

WHOとの提携による他のプログラムでは、5年間で合計50万人の結核患者さんに対し、治療薬を提供していきます。この支援は最貧国を優先して行われ、2005年にまずタンザニアでプログラムを開始しました。

そのほか、ノバルティスは、マラリアが風土病となっている開発途上国の公共セクターに対し、マラリアの画期的治療薬であるCoartemを原価で提供しています。2002年以降、600万以上の治療薬が提供されました。さらに本年は、需要拡大に伴いCoartemの製造能力を大幅に増強する計画です。

また、ノバルティス持続可能な開発財団(Novartis Foundation for Sustainable Development) は、25年にわたり開発途上国の人々の健康に貢献してきました。本財団は、ハンセン病治療薬の普及や、ハンセン病に対する偏見をなくすためのプログラムを支援するほか、病気の後遺症に苦しむ人びとの現地でのケアにおいて先駆的な役割を果たしています。

ノバルティスについて

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティス グループ全体の2004年の売上高は282億米ドル（約3兆507億円）で、当期純利益は58億米ドル（約6,228億円）、研究開発費は42億米ドル（約4,544億円）でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約81,400人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。

<http://www.novartis.com/>

Committee to Encourage Corporate Philanthropy (CECP)について

企業の会長やCEOが、フィランソロピー活動を議論するために1999年に設立されたフォーラムで、米国・ニューヨークに本部を置く。企業の会長、CEO100人以上が会員となっており、会員会社による寄付は、米国で行われる企業寄付の約45%（金額ベース）を占めています。 <http://www.corphilanthropy.org/>

以上